

連携自治体紹介シート

自治体名	利尻富士町
自治体の概要	<p>利尻富士町は、北海道稚内市より西方へ 52 km の日本海上に位置し、日本最北の秀峰・利尻山（1,721m）を中心にして西部は利尻町と接し、2町で1島を構成する円錐状の島です。</p> <p>面積は 105.62 km² で利尻島のおよそ 60% を占め、本島の北西に位置する礼文島及び本土のサロベツ原野とともに昭和 49 年に「利尻礼文サロベツ国立公園」に指定されています。</p> <p>気候は、日本海側に位置するため対馬暖流の影響を受け、本道の内陸の気候と比べると比較的温暖ですが、冬季は北西の季節風が強く、典型的な北方離島特有の自然条件下にあります。</p> <p>集落は、鴛泊及び鬼脇市街を中心に大小 20 地域となっており、海岸線に沿って点在し、近年は市街地に著しく人口が集中する傾向にあります。</p> <p>令和 2 年の国勢調査人口は 2,458 人で、昭和 30 年の 11,234 人をピークとして、8 割近く減少し、人口動態では若年層の減少が続く中で、高齢化率は 38.3% と離島特有の社会構造となっています。</p>
アクセス方法	<p>空路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羽田空港⇒新千歳空港（約 1 時間 30 分）⇒丘珠空港（約 1 時間）⇒利尻空港（通年運航 約 55 分） total 約 3 時間 25 分 ・羽田空港⇒新千歳空港（約 1 時間 30 分）⇒利尻空港（6 月～9 月季節運航 約 50 分） total 約 2 時間 20 分 <p>航路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羽田空港⇒稚内空港（空路 約 1 時間 50 分）⇒稚内港（約 1 時間）⇒鴛泊港（航路 約 1 時間 40 分） total 約 4 時間 30 分 <p>朝 10 時に東京を出ても夕方には到着できる、実はアクセス抜群の利尻島。</p>
主な特色 PR ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・何とんでも利尻山。 利尻島の真ん中にそびえ立ち、その高さは 1,721m で日本百名山では北の秀峰として 1 番目に数えられています。 別名「利尻富士」の愛称で親しまれており、年間約 9 千人の登山者が訪れています。 ・基幹産業は水産業と観光業。 「利尻昆布」や「ウニ」「アワビ」などの海産物が豊富であり、特に利尻昆布はダシ昆布の最高級ブランドとして関西の料亭等で消費されています。 高山植物や利尻島の固有種を見ることができ、最近ではシーカヤックやバクカントリーなども楽しめる、年間約 14 万人の観光客が訪れる観光地。
主な地域課題	<p>日本では 2008 年をピークに総人口が減少に転じており、すでに人口減少時代に突入しています。</p> <p>人口減少に伴い、労働力の根幹をなす「生産年齢人口」の減少による経済規模の縮小が日本各地で問題となり始めているが、利尻富士町においても例外ではなく、むしろ北方離島という厳しい条件下では、若年層の島外流出による「働き手不足問題」が加速度的に進展し深刻な問題となっていることから、早急に対策に取り組まなければならない状況となっています。</p>

連携自治体ワーケーション促進事業体験プログラムシート

名称	利尻富士町の働き手不足解消プログラム
実施期間	8月～12月
プログラム内容	<p>来島期間に合わせ、以下の中から最低2つのプログラムを体験していただきます。</p> <p>①水産業関係働き手不足課題体験 働き手不足となっている漁業協同組合や担い手不足である漁業者と触れ合い、実際に水産業の現場を体験することにより、課題の洗い出し及び課題解決に向けた取り組みについて検討する。 また、生産者との出会いによる新たなビジネスチャンスを模索する。</p> <p>②商工業関係働き手不足課題体験 働き手不足となっている宿泊施設や商店等、また新規出店や後継者不足により観光最盛期にランチ難民が発生している飲食店の実情を体験することにより、課題の洗い出し及び課題解決に向けた取り組みについて検討する。</p> <p>③介護施設働き手不足課題体験 介護職員や看護師等が慢性的に不足している介護施設の現状を体験することにより、課題の洗い出し及び課題解決に向けた取り組みについて検討する。</p> <p>④利尻島自然体験 利尻島の大自然を体験するとともに、普段の観光では経験できない地元ガイドや地域の人との触れ合いにより、新たなビジネスチャンスを模索する。 また、イベント開催時期に重なれば参加してもら。</p>
参加に要する費用	食費（各自）
主な対象企業	業種問わず
企業に期待すること	<p>まずは本プログラムを入り口として、利尻富士町（利尻島）の良さを感じていただきたい。</p> <p>そのうえで、現状に触れることにより課題解決に向けた取り組みを提案していただき、本プログラム終了後も関係性を維持しながら、次は具体的な課題解決のための実行プログラムを本町や地域と連携しながら、一緒に進めていただきたい。</p>
留意事項	現時点で想定なし

連携自治体紹介シート

自治体名	山形県南陽市	
自治体の概要	<p>山形県の南部に位置する人口3万人のまち。古くから県南地方の交通の要衝として栄えてきました。</p> <p>“南陽”という名前からは“ぼかぼかとした温かさ”が連想されますが、周辺を山々に囲まれた盆地気候。夏は極めて暑く冬はとことん寒い（おまけにドカッ！と雪が降る）。・・・なんとも 四季に素直な暮らしがここにはあります。</p> <p>山形新幹線つばさで東京から2時間20分。ひとたび赤湯駅に降り立てば 温泉、くだもの、地酒に地ワイン・スカイスports、伝統と民話、さらに世界一のコンサートホールで繰り広げられるエンターテインメント。・・・そして、ラーメン、らーめん、拉麺！</p> <p>どこにでもありそうな小さな田舎町には、ここにしかない体験で満ち溢れています。冒頭の“ぼかぼかとした温かさ”、これは現地の人との触合いの中で存分に感じていただけるはず。つながり つどう 縁結がまち、南陽市 ―― ここはそういうまちなのです。</p>	
アクセス方法	山形新幹線つばさ 東京 → 赤湯（2時間20分）	
主な特色 PRポイント	<p>このワーケーションプログラムは“何も考えない時間”を軸に、温泉・ワイン・スカイスportsといった地域ならではのコンテンツを組み合わせました。心身のリフレッシュでひらめきを促し、クリエイティブな仕事が一層はかどることを祈ります。</p> <p>【ワイン】 農作業体験と醸造体験、テイスティング 【スカイ】 パラグライダーのタンデムフライト体験 【温泉】 温泉旅館と公衆浴場の湯めぐり 【フード】 ラーメン、山形ピッツァ、くだもの 【ワーク】 各所にWi-fi スポットあり、ひらめいたらすぐ仕事できます！</p> <p>※ スカイスportsや農作業体験も天候や気象条件により計画どおりには進まないことが想定されますが、“いい風が吹くまで”の待ち時間すらも有効に活用できるよう、コンパクトな地勢を活かした体験プログラムを提案いたします。</p>	 
主な地域課題	<p>人口減少はあらゆる側面に影響を及ぼしています。持続可能なまちづくりを進めるためには、新たな人のつながりや業種や地域を越えた協働が不可欠です。ワーケーションプログラムの中核「ワイン産業」の分野では、原料葡萄の栽培者の高齢化・担い手不足・耕作放棄の増加が顕在化。山形県における葡萄栽培発祥の地であり、東北最古から新進気鋭のものまでワイナリー6社が集積する“ワイン産地”としてのブランディング・情報発信をどう進めるかが課題となっています。</p>	

連携自治体ワーケーション促進事業体験プログラムシート

名称	いい風が吹くまで。待ち時間だって五感で愉しめ！ひらめき促進ワーケーションプログラム
実施期間	令和5年10月上旬ごろから11月上旬ごろまで（1か月程度）
プログラム内容	<p>2泊3日 または 3泊4日 の滞在を想定しています。例として記載します。</p> <p>■1日目（昼）ラーメン（夕）旅館 AM 現地へ移動（東京駅→赤湯駅 2時間20分） PM 街歩き（ワーク拠点*の確認）、チェックイン</p> <p>■2日目（朝）旅館（昼）山形ピッツァ（夕）居酒屋 AM パラグライダータンデムフライト※2名/日まで PM 公衆浴場+個人ワーク/ワインテイスティング</p> <p>■3日目（朝）旅館（昼）出前ラーメン（夕）レストラン AM 葡萄収穫体験+MYワインづくり PM 温泉（足湯）+個人ワーク / 街歩き</p> <p>■4日目（朝食）旅館（昼食）レストラン AM チェックアウト、個人ワーク（体験まとめ） PM 公衆浴場+個人ワーク、 移動（赤湯駅→東京駅 2時間20分）</p> <p>※ワーク拠点（Wi-Fiスポット）は行程内にも10か所程度あります。 ※2日目以降は早朝に雲海を見に行きます（天候によるので毎朝チャレンジ）。 ※パラグライダータンデムフライトや葡萄収穫体験も天候によるため、個人ワークの時間を含めプログラムは流動的となります。</p>
参加に要する費用	<p>交通費 東京駅 — 赤湯駅（山形新幹線つばさ 往復2.4万円程度） 宿泊費 赤湯温泉の旅館宿泊（目安として1万円/泊 ~ *要相談） 体験費 パラグライダータンデムフライト（16,500円、傷害保険料・空中写真込）、 MYワインづくり（5,000円/人）、公衆浴場湯こっと入浴料（300円/回）</p>
主な対象企業	業種問わず
企業に期待すること	体験を通じて感じたことや風景等はぜひ広く発信していただくとともに、ワーケーション中の様子について写真や動画を撮影させていただき、本市の情報発信にも活用させていただきたいです。
留意事項	スカイスportsや農作業など自然の中でのアクティビティがありますので、防寒対策と動きやすい服装で参加いただくことをお勧めします。また、アルコールの提供を想定しているため20歳未満の方の参加は御遠慮ください。



▲パラグライダー楽しいよCH @paratanoさんのYoutubeでは現地でのフライトの様子が分かりやすく紹介されています。



連携自治体紹介シート

自治体名	山形県高島町
自治体の概要	<p>山形県の南側の市町で構成される「置賜地方」の町の1つで、新潟市、福島市、仙台市、山形市の間に位置しており、古くから交通の要所として活用されてきました。JR高島駅は、山形新幹線「つばさ」の停車駅となっており、東京駅から乗換なしで2時間20分と、関東圏からのアクセスも良好です。</p> <p>令和5年3月時点での人口は約2万2千人で、面積は約180.3 km²。米や果樹といった農業のほか、昭和初期から製糸工場や食品加工の歴史があり、現在も製造業が盛んな町です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
アクセス方法	JR 東京駅－高島駅（新幹線）：片道約2時間20分 10,750円（R5.3月現在）
主な特色 PRポイント	<p><イベント></p> <p>健康を祈願して雪の降る中、長さ4m、重さ600kgを越す「大わらじ」裸の若者が担いで町内を練り歩く「大日如来わらじみこし祭り」や、様々な神輿と民謡が披露される「青竹ちょうちんまつり」、カーマニア必見の名車たちが大集合する「クラシックカーレビュー」など、地域を盛り上げる魅力的なイベントが随時開催されています。</p> <p><特産品></p> <p>米、ぶどう、りんご、ラ・フランスなど、様々な農産物が豊富な農業のまちでもあります。(株)高島ワイナリーや町内3か所にある酒蔵などをはじめ、農産物を活かした食品加工業も盛んです。また、有機農業の先進地としても知られ、農家による農業体験活動なども全国に先駆けて行っています。</p> <p><文化・伝統></p> <p>国指定史跡の「日向洞窟」をはじめ、縄文時代から人々が生活していたことを物語る貴重な洞窟・史跡が点在しています。また、「泣いた赤鬼」などで知られる童話作家「浜田広介」の出身地でもあり、町の公式マスコットキャラクター「たかつき・はたつき」は、「泣いた赤鬼」をモチーフに生まれたキャラクターです。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>

連携自治体紹介シート

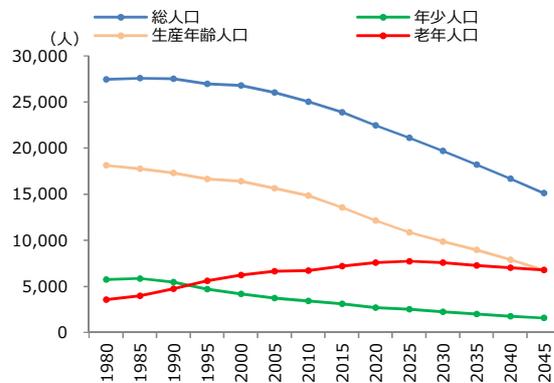
当町の出生数は平成28年は150人、令和2年には123人、そして令和4年は117人と、減少が続いています。

町の人口も22,000人前後まで減少し、地域の担い手不足といった影響を及ぼし始めています。

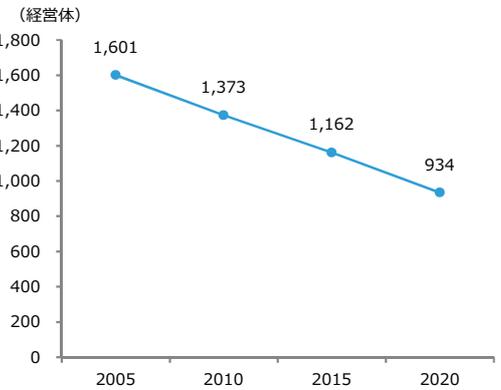
特に、町の主たる産業の一つである「農業」は、農業経営体数が2005年の1,601から2020年には934と、15年間で4割以上が離農している状況にあり、今後の耕作放棄地の急激な増加等が懸念されます。

主な地域課題

人口動態



農業経営体数



出展：地域経済分析システム「RESAS」

<p>名称</p>	<p>学びと体験で「地方」を知るワーケーション</p>
<p>実施期間</p>	<p>8月～11月</p>
<p>プログラム内容</p>	<p>山形県高畠町では、令和4年度に東京大学の「フィールドスタディ型政策協働プログラム」、東京外語大学「スタディーツアー」、西日本を含めた様々な大学の学生が1週間の就業体験と地方移住を体験する「高畠町地域留学」など、大学生が地方で行う『学び』をサポートした実績があります。</p> <p>令和5年度も、実際に地方で過ごし、新たな視点で日常を見つめ直すことのできるような「人」と「生業（なりわい）」との出会いが可能なプログラムを行います。</p> <p>〈体験内容について〉</p> <p>農業体験を通して、里山・農村文化を学ぶコースです。主に果樹園地での農作業を体験しながら、そこで作業している農家さんと交流することで、実際の農業生産の現場と、生産地からの農産物流を学ぶことを目的としています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">※写真：令和4年度における学生等受入れ時の様子</p>
<p>参加に要する費用</p>	<p>コワーキングスペース利用料 500円／1人・1日あたりの料金</p>
<p>主な対象企業</p>	<p>製造、卸売、小売、飲食サービス、IT産業関連事業者など</p>
<p>企業に期待すること</p>	<p>当町では、これまでも都市部等の大学生を受け入れることで、学生へ地方での暮らしの機会を創出するだけでなく、当町住民が地方で暮らしながら思い描くことのできないアイデアをいただくこと、その後も続いていく「関係人口」となっていくことを進めてきました。</p> <p>当ワーケーションに参加される企業の皆様にも、滞在終了後も交流が続き、互いの価値を高めあう関係性となることを期待しています。</p>
<p>留意事項</p>	<p>○農作業を行う際の保険（500円／1人）をご案内させていただきます。</p> <p>○貸出用の長靴や用具がありますが、汚れてもよい服装をご持参ください。</p> <p>○滞在日数が3日を超える場合は、他プログラムとの併用も可能です。</p> <p>〈併用可能なプログラム例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元住民が整備した山道を歩く「森林浴トレッキング」 ・「高畠町リーダー経営育成塾」の塾生や卒業生との対談マッチング ・高校生や大学生とのコラボレーション企画づくり ・町内の歴史や産業の変遷を知るツアー+石庭公園での石切り作業体験等

自治体名	山形県小国町
自治体の概要	<p>小国町役場 〒999-1363 山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町 2-70</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人口 6,926人 (R5.1.31 現在) ○老年人口 40.6% (R2) ○面積 737.56 km² > 東京 23 区 ○森林面積 93.8% ○宅地面積 0.4% ○最大積雪深 233cm (町中心部) ○根雪期間 116 日 ○産業別総生産 第1次 8.0% 第2次 43.6% 第3次 48.3%
アクセス方法	<p>【東京駅】～山形新幹線(2時間)～【米沢駅】～JR米坂線(1時間30分)～【小国駅】 *JR米坂線は、R4.8月の豪雨災害により途中代行バス運行</p> <p>○交通費 片道 約12,000円</p>
主な特色 PRポイント	<p>山形県の西南端に位置する小国町は、東京23区がすっぽり収まるほどのとても大きな町です。総面積の約9割が森林で、そのほとんどがブナを中心とした広葉樹林です。周囲を朝日連峰と飯豊連峰に囲まれ、冬は町中でも2メートル程の雪が積もる国内有数の豪雪地帯です。</p> <p>大量の雪は雪解け水となって森林を潤し、山の幸、川の幸を育みます。豊富な水資源は、町の主たる産業である製造業にも欠かせません。小国町では、雪の色とブナの木肌の色から、白をイメージカラーとし、町全体を「白い森」と呼んでいます。</p> <p>町内には自然と触れ合える場所がたくさんあります。飯豊山麓の温身平は、林野庁が森林浴効果がある森林セラピー基地として認定した第1号です。町で肥育される米沢牛や短角牛はブランド牛として有名な特産品で、また、わらびの生産量は日本一です。町内で採れるあけびのつるや山ぶどうの樹皮を編んだつる細工の籠やバッグも伝統工芸品として人気です。</p>
主な地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少 昭和30年代に約18,000人だった人口が、現在7,000人をきる状況 ・少子高齢化 老年人口の割合が、40%を超えている ・耕作放棄地の増加 H2 4,813aであったが H27 11,822a と約2.5倍に増加 ・交通の不便さ 町営バスの本数が限られておりレンタサイクル等もないため移動が不便 観光施設は広い町内に点在しているため、周遊が難しい ・DX導入の遅れ 行政手続など、様々なオンライン化が進んでいない

連携自治体ワーケーション促進事業体験プログラムシート

名称	豊かな森で楽しむ自然体験&絶景リモートワーク
実施期間	8月中旬から10月下旬
プログラム内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ブナの森での森林セラピー、森林ヨガ体験 地元ガイドによる案内で、森の癒し効果を体験。あわせて、マタギ文化等の話を聞くことも可能。 (体験料：半日コース 2人以上 3,000円/人) ・抜群のロケーションと飯豊温泉が楽しめるコワーキングスペース 源泉かけ流し展望大浴場でゆったり温泉を楽しむ、飯豊山の絶景を眺めながら、リモートワークやミーティングが可能。 (利用料：ドロップイン 550円/日、日帰り温泉 500円) ・酒蔵をリノベーションした「カモスク」でのビジネスマッチング 町の交流拠点であるカフェ&コワーキングスペース「カモスク」で、地元住民との交流、ビジネスマッチングを行うことができます。 (ドロップイン 500円/1時間・1,000円/日) ・芋煮会やバーベキューでチームビルディング 山形の郷土料理である芋煮や、米沢牛や菌床しいたけのバーベキュー。火おこしなどをチームで行うことで、チームビルディングに繋がります。寝ころびながら満天の星空を眺めれば、心も体も癒されます。 (材料費他：約3,000円/人) ・登山(初心者向けから本格的な登山まで)でのチームビルディング 町内に様々な難易度の登山コースがあり、滞在中に幾つかの山に登ることもできます。チームでの登山はチームビルディングに繋がります。 ・農業体験 町内には稲作、野菜、畜産などの農家がいるため、農作業のお手伝いをとおして生産現場を体験できます。 (体験料：約3,000円)
参加に要する費用	上記のとおり(詳細は未定なところもあり)



連携自治体ワーケーション促進事業体験プログラムシート

主な対象企業	IT業、飲食業、マスコミ、通信業、サービス業（旅行、レジャー）など
企業に期待すること	<ul style="list-style-type: none">・地域課題の解決に向けた協働・町民や町内事業者との連携による新たなチャレンジやビジネスの創出・研修や福利厚生フィールドとしての継続的な利用・社員旅行や家族旅行への発展による交流の継続
留意事項	<ul style="list-style-type: none">・プログラム内容によっては、服装、持ち物に留意（長ぐつ、帽子、手袋など）

連携自治体紹介シート

自治体名	福島県いわき市
自治体の概要	<p>いわき市は、福島県の東南端、茨城県と境を接する、広大な面積を持つまちで、東は太平洋に面しているため、寒暖の差が比較的少なく、温暖な気候に恵まれた地域です。</p> <p>地形は、西方の阿武隈高地（標高 500 から 700 メートル）から東方へゆるやかに低くなり、平坦地を形成し、夏井川や鮫川を中心とした河川が市域を貫流し、太平洋に注いでいます。</p> <p>人口 322,509 人（令和5年4月1日現在）</p> <p>世帯 141,124 世帯（令和5年4月1日現在）</p> <p>面積 1232.51 平方キロメートル（令和5年1月1日現在）</p>
アクセス方法	<ul style="list-style-type: none"> ・常磐線(特急ひたち) JR 東日本品川駅～JR いわき駅 約2時間30分 ・常磐自動車道 三郷 I.C～いわき湯本 I.C 約2時間14分
主な特色 PR ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・福島県いわき市は、全国的にも日照時間が長く、寒流と暖流が交わる「潮目の海」と呼ばれるいわき沖があるため、新鮮な農産物や魚介など、美味しいものがたくさん揃っています。 ・「フラガールが生まれた街いわき」でも親しまれ、「スパリゾートハワイアンズ」をはじめ、「環境水族館アクアマリンふくしま」や、「国宝白水阿弥陀堂」、「いわき湯本温泉郷」など、家族や友人と楽しめる観光・文化施設もたくさんあり、首都圏からは電車で約2時間、車なら常磐自動車道で約2時間半と、宿泊旅行でも日帰り旅行でも楽しめます。
主な地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層の転出超過等による人口減少が進み、特に、中山間地域ではその傾向が顕著です。このような中、効率的に行政サービスを提供するためには、まちのコンパクト化が必要です。 ・東日本大震災や新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、観光交流人口が大きく減少しています。 ・第一次産業や伝統産業の担い手が不足しています。

連携自治体ワーケーション促進事業体験プログラムシート

名称	田人わくわくワーク
実施期間	8月14日～12月22日
プログラム内容	<p>元いわき市地域おこし協力隊員の運営する田人ワークキャンプ・ビレッジが行うプロジェクトに参加し、田人町の景観や文化を守る活動に従事するとともに、地域とのふれあいを通じ、地域活性化を図ってください。なお、体験プログラムについては、ご希望に応じ、次の中から選択することが可能です</p> <p>○体験プログラム</p> <p>(1) 井戸沢断層の景観保持と語り部のお話会 直下型地震により発生した最大高さ約2mにもわたる正断層周辺の景観維持を行うとともに、語り部から被災当時のお話を伺います。</p> <p>(2) 明神里山実行会と一緒に多祁神社の参道整備 地域の歴史的文化財でもある多祁神社の参道の整備(草むしりや倒木の伐採等)を、高齢化が進む明神里山実行会と一緒に行っていただきます。</p> <p>(3) 野菜収穫体験&手づくりピザ体験 高齢化や担い手が不足する農家での野菜収穫・選別作業と、収穫した野菜を使ったピザの手作り体験で、田人野菜の美味しさを味わうことができます。</p> <p>(4) 山登りハイキングで登山道整備 ハイキングをしながら、担い手が不足し整備が行き届いていない登山道や遊歩道の倒木の撤去や手入れを行い、環境を整えます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
参加に要する費用	<p>※2泊3日、5名での費用例</p> <p>コーディネート費：30,000円、人件費(当日インストラクター)：80,000円(メイン15,000円×1名×3日、サブ10,000円×1名×3日、地域インストラクター5,000円×1名×1日)、昼食代：18,000円(1,200円×5名×3日)、その他活動費用：ピザ作り体験費6,000円(1,200円×5名×1回)</p>
主な対象企業	業種問わず
企業に期待すること	<p>過疎高齢化が進む田人地区において、担い手が不足する地区の景観や文化の保全活動に参加してもらい、課題解決を図るとともに、新たな視点での解決方法をご提案してください。また、活動後も、田人町の魅力の発信や、再び訪れていたくなど、地区との関係を継続していくことで、地域の活性化にご協力いただきたいです。</p>
留意事項	・ボランティア保険への加入

連携自治体ワーケーション促進事業体験プログラムシート

名称	いわき市環境アドバイザーがガイドする自然体験
実施期間	令和5年8月14日～12月22日（ガイドと調整のうえ決定）
プログラム内容	<p>いわき市では、自然環境などの専門的知識を持つ市民の方々を「環境アドバイザー」として登録し、市内で開催される自然体験イベント等へ派遣しています。</p> <p>本プログラムでは、いわき市環境アドバイザーがガイド（講師）となり、各ガイドがおすすめする市内の自然公園・里山などにおいて、自然観察体験、水生生物調査体験、星空観察体験などの自然体験を行い、普段の観光や都会では経験が難しい自然とのふれあいを楽しみながら、身近な自然環境や生物多様性の保全の大切さについて、参加者に考える機会としていただくもの。</p> <p>○実施場所：いわき市林業研修センター湯の岳山荘、いわき市フラワーセンター、ワンダーファーム（勝賀岩）、福島県立いわき公園、関伽井嶽（常福寺）、背戸峨廊、勿来県立自然公園、夏井川 など</p> <p>○その他：ガイドへの謝礼・交通費はいわき市が負担</p> <p>【自然観察体験（湯ノ岳）】 【水生生物調査体験（夏井川）】</p>  
参加に要する費用	無料(参加者が個人で傷害保険へ加入する場合には保険料の負担が必要)
主な対象企業	特になし
企業に期待すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ いわき市の自然環境の魅力についての PR や情報発信 ○ いわき市の自然公園・里山などの保全活動への参加・協力 ○ いわき市環境アドバイザーや市内環境保全団体との連携・支援 ○ 国内における 30by30 達成に向けた港区内（あるいは東京都内）における自然共生サイト認定の検討
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ ガイド派遣にあたっては、参加者が 10 人以上で、原則として実施日の 30 日前までに、主催者からの環境アドバイザー派遣申請の必要あり（予算額に達した時点で受付終了） ○ 主催者あるいは参加者個人による傷害保険への加入を推奨 ○ 実施内容によって、長袖・長ズボンの服装、運動靴（トレッキングシューズなど）、長靴、防寒着などの準備が必要 ○ 雨天の場合には、開催中止や別メニューとなる場合あり

連携自治体ワーケーション促進事業体験プログラムシート

名称	いわき名物ガイド
実施期間	7月～12月の毎週土日祝 実施予定 ※上記以外の日はリクエストでの対応
プログラム内容	<p>いわき市の観光名所に精通する「いわき名物ガイド(仮称)」がいわき湯本温泉郷及び JR いわき駅周辺等を散策しながら現地の方と交流するプログラム。</p> <p>(プログラム内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いわき湯本温泉郷：温泉街なか散策・炭鉱史・震災(ホープツーリズム)・自然散策 ・JR いわき駅周辺：磐城平城歴史・自然散策等 ・その他エリア：震災(ホープツーリズム)・自然散策等 <p>(所要時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1時間半～2時間 <p>(受け入れ人数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1名～10名 ※それ以上の場合は要相談 <p>(予約方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日現場集合 ※グループ等の事前予約は要相談
参加に要する費用	<p>お一人当たり 2,000 円を想定 ※保険料込み</p> <p>※支払方法 現金・キャッシュレス決済(PayPay)を想定</p>
主な対象企業	どのジャンルでも可能
企業に期待すること	<p>東北の南東端にあり、首都圏からも近いいわき市は、冬でもあまり雪が降らない温暖な気候です。また、国内最大級の温泉リゾート「スパリゾートハワイアンズ」や東北最大級の水族館「アクアマリンふくしま」など家族・カップルを中心としたレジャースポットとして知られております。しかしながら、開湯1300年の歴史を持ち日本三古泉の一つに数えられる「いわき湯本温泉郷」やいわき市の中心街「いわき駅周辺」の文化・歴史・自然等の地域の魅力はあまり知られていません。また、世界でも類を見ない複合災害を経験した本市の現状を見ていただき、復興の後押しに繋がるホープツーリズムのメニューもございます。これらをコンテンツとして、いわきを誰よりも知り、愛する「名物ガイド」が、親切・丁寧にご案内させていただくことにより、もっと本市を知り、好きになっていただくことを期待し、ご提案いたします。</p>
留意事項	<p>※年末年始は休止いたします。</p> <p>※雨天決行、荒天中止</p>

連携自治体ワーケーション促進事業体験プログラムシート

名称	いわき神玉めぐり
実施期間	8月～12月 毎日
プログラム内容	<p>いわき市内の神社10社が参加しているそれぞれ紋様が違う直径1.5cmの「神玉（かみたま）」は、全て揃えると参拝者の大願が成就されるよう祈願されている。南北60kmに及ぶいわきでの神玉巡りは自家用車、電車、自転車、徒歩等といった収集手段にもバリエーションがある。また、神社では神職と交流することでその土地の歴史・文化を学び、また神社周辺の海や山、温泉といったいわきの風光明媚な自然を堪能しながら、名物を食したり、宿泊したりといわきに滞在することで、新しい発見や交流が生まれるプログラムである。</p> <p>（プログラム内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内10箇所の神社 （四倉諏訪神社、立銚鹿島神社、三島八幡神社、温泉神社、金刀比羅神社、小名浜諏訪神社、諏訪八幡神社、植田八幡神社、真弓神社、國魂神社） <p>（所要時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2～3日間 <p>（楽しみ方）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月頃、10社及び周辺のスポットの巡り方を紹介する攻略本「神玉虎の巻(仮称)」を作製中。各神社にて配布予定。
参加に要する費用	<p>初穂料500円（神玉1つにつき）</p> <p>※神紐は別料金（300円）</p>
主な対象企業	どのジャンルでも可能
企業に期待すること	<p>東北の南東端にあり、首都圏からも近いいわき市は、冬でもあまり雪が降らない温暖な気候です。また、国内最大級の温泉リゾート「スパリゾートハワイアンズ」や東北最大級の水族館「アクアマリンふくしま」など家族・カップルを中心としたレジャースポットとして知られております。また、市内には、約300の神社があり、市内外より多くの参拝者が来訪されております。「いわき神玉巡り」は、参加している10社で神玉を受けることで、大願が成就されるよう祈願されており、ワーケーション滞在中に市内を周遊しながら「神玉」を受けると、大願成就が叶うことを期待し、ご提案いたします。</p>
留意事項	<p>※神社の祭事などで神職が不在の場合もございます。</p> <p>※神社の階段が急な神社もございますのでご注意ください。</p>

連携自治体ワーケーション促進事業体験プログラムシート

名称	手漉き和紙製作への道（第1章）（第2章）
実施期間	8月（草刈り・芽掻き作業・灯りの製作）（第1章） 12月（楮刈り取り作業・原材料の加工・紙漉き体験）（第2章） ※どちらかのみでの参加も可能です。
プログラム内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ いわき市遠野町に伝わる遠野和紙の伝統を、将来世代に引き継いでいくため、平成27年度から地域おこし協力隊制度を導入し、地元の有志と和紙を守り続けてきました。遠野和紙がどのように作られているのか、和紙の原料である楮（こうぞ）の刈り取りから、伝統的な手法による紙漉きのプロセスを遠野和紙・楮保存会や地域おこし協力隊が案内するとともに、和紙に関する農作業の手伝いや紙漉きを体験してもらいます。 ・ 和紙が作られるプロセスを目の当たりにすることで、日本のものづくり文化の素晴らしさを肌で感じることができます。 <p style="text-align: right;">（左）農作業（芽掻き作業） （右）紙漉き</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
参加に要する費用	1回：8,000円/人（ここでしかできない体験にかかる費用です） ※第1章、第2章それぞれで費用がかかります。
主な対象企業	業種問わず
企業に期待すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワーケーション終了後も継続して、和紙に関する農作業の手伝いに参加してもらえるように関係性を維持していきたいです。 ・ 遠野和紙の販路拡大に向けた実現できそうな提案をしてもらいたいです。 ・ 参加企業のイノベーションを活用した地域問題の解決に寄与していただきたいです。
留意事項	

連携自治体紹介シート

自治体名	福島県喜多方市
自治体の概要	<p>喜多方市は福島県の北西部、会津盆地の北に位置し、東に裾野を広げる雄国山、北西にそびえる飯豊連峰、南部を横断する阿賀川に囲まれ、肥沃な土壌と豊かな水、広大な山林の恵に満ちた自然豊かなまちです。</p> <p>喜多方市は、これら自然、歴史、文化、食など特色のある豊富な地域資源を観光資源として活用することで、年間180万人を超える観光客の方が訪れる、観光のまちでもあります。</p> <p>人口は約46,000人、世帯数は約17,000世帯となっています。面積は約555k平方メートルで、その約7割が山林で、東部、西部、北部地域を中心に、山林が広がっています。一方、市の中心部から南部にかけては、平坦な地形で、市街地を囲むように、田園地帯が広がっています。</p>
アクセス方法	<p>【自動車】 東京（東北自動車道：180分）郡山 Jct（磐越自動車道：40分）会津若松 IC（R121：20分）喜多方</p> <p>【電車】 東京（東北新幹線：85分）郡山（JR 磐越西線：85分）喜多方 浅草（東武線・野岩鉄道・会津線：255分）会津若松（JR 磐越西線：15分）喜多方</p>
主な特色 PRポイント	<p>近年、新しい働き方・生き方として「ワーケーション」が注目され、コロナ禍によるテレワークの促進を受けてより盛んに行われるようになりました。市においても、令和3年7月に喜多方ワーケーション推進協議会が設立され、令和3年度よりワーケーション目的の訪問者を受け入れる体制づくりを始めたところです。</p> <p>喜多方ワーケーション推進協議会では、それぞれの得意分野・強みを活かして温もりのある人の繋がりを育み、喜多方らしさをバージョンアップすることを【MISSION】とし、ほど良い暮らしをお裾分け。「” 私らしい” 生き方」と出逢える蔵と醸しのまち喜多方【VISION】として、リゾート地にはない、人が住まう蔵でのワークや農業体験など、素朴な体験をしながらのワーケーションに取り組んでいます。</p>
主な地域課題	<ul style="list-style-type: none"> 喜多方市は、喜多方ラーメンやそばなど「食」を目的に多くの観光客が訪れる一方で、滞在時間が短く、観光消費額単価が低いことが課題となっています。このため、宿泊につながる「日本酒を活用したイベント」や「宿泊施設の高付加価値化」などに取り組んでいるところです。 人口減少や高齢化の影響は、本市観光を支える「観光人材」にも大きな影響を与えており、ラーメン店の高齢化等による閉店やメイン通りのシャッター化などが相次いでおり、都市部からの若者の移住や企業等の参入（サテライトオフィス開設）などに取り組んでいます。

<p>名称</p>	<p>蔵と醸しのまち喜多方 Well-being ワーケーション</p>	
<p>実施期間</p>	<p>9月～12月</p>	
<p>プログラム内容</p>	<p>喜多方の豊かな自然が生み出す暮らしと文化・人と触れ合うことを軸とし、地域ならではの価値を体験を通して学ぶ中で、社員個人や組織の Well-being を向上していただく機会とします。</p> <p>●体験プログラム例</p> <p>(1) 農産物生産加工体験 米やぶどう・りんごなど、地域の農産物を生産する現場にて農作業体験を行い、また収穫物を原材料として日本酒や果実酒などを醸造していく行程の体験を行います。</p> <p>(2) 伝統工芸体験 小学生の給食食器としても使われるほど暮らしに根付く会津喜多方漆器の製造や活用の体験を行います。</p> <p>●ワーク時間の過ごし方事例</p> <p>(1) 重要な建造物群保存地区の小田付蔵通りにある蔵を改装したワーケーション HUB を使用し、リモートワーク等を行うことができます。</p> <p>(2) 会津盆地を一望することのできる市内雄国地区において、リモートワークやオフサイトミーティング等を行うことができます。</p> <p>●地域事業者とのビジネス”協創”ミートアップ 主に次世代を担う若手経営者と、地域課題の解決や新たな価値の創出に向けた協議の場を設けます。</p>	 
<p>参加に要する費用</p>	<p>1人あたりの参加に要する費用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象（一部） 宿泊費 22,000 円（11,000 円×2泊） 交通費 24,000 円（往復） ・補助対象外 体験料 10,000 円（5,000 円×2日） 施設利用料 4,000 円（2,000 円×2日） 	
<p>主な対象企業</p>	<p>地域事業者との協創に関心があり、自然環境を活かした発展に寄与する企業</p>	
<p>企業に期待すること</p>	<p>1) 喜多方ラーメンだけではない「喜多方」という地域の魅力を体感し、社員および組織の Well-being 向上に繋げていただく</p> <p>2) 喜多方の自然文化を資源としてより活用できる、新たな取り組みの協創</p> <p>3) 港区と喜多方のコラボレーションにより、日本国内にとどまらず世界へも訴求できるアイデアの創出</p>	
<p>留意事項</p>	<p>天候により、体験プログラムに変更が生じる場合があります。</p>	